

2020年7月29日

八王子市教育委員会様

都教組八王子支部執行委員会

オンライン授業についての要望書

学期末に突然提起されたオンライン授業の準備で、職場は振り回されています。

7月20日の研修会について、

- ① 内容が配布された資料に基づいておらず、わかりにくい。
- ② 双方向のやり取りがない。
- ③ 時期・時間設定も無理がある。

という問題点がありました。

オンライン授業の準備の実務が、学期末の事務作業や教育活動と重なり、更に多忙化に拍車をかけています。教職員同士で試行した学校では、生徒役の先生がラインに入れなかった例があり、校内ランの容量を超えているのではないかと思います。このまま実施しても、全学年全クラスで同時に授業することはできないのではないのでしょうか。参加できない生徒が出てくるケースも予想されます。ZOOMで試行していた学校では、そのままではいけないのか、という声もあります。

さらに、ベネッセのオンライン教材サイト「ミライシード」を、無条件に利用するようになっているのも疑問です。

これから保護者から様々な要望や質問が出てくるでしょう。その対応も心配です。

以上の状況を踏まえ、次のことを要望します。

1. 保護者からの質問を受け付ける市の窓口を開設し、保護者に通知してください。
2. 実行を急がず、準備に十分時間をかけるよう各校にご指導ください。
3. 「ミライシード」が選ばれるまでに、他の教材は調べたのか、現場の教職員の意見は聞き取ったのか、どのような比較検討を経て「ミライシード」が選ばれたのか、など、選ばれた経過を教職員・市民に説明してください。

なお、7月20日の研修会での斉藤指導担当部長のごあいさつに

「あなたたちは公務員という立場に甘えていませんか」

という意味の一節があり、多くの職場から、「たいへん残念だった」という声が組合に届いています。現場の努力に心を寄せていただくようお願い致します。